

平成 21 年 11 月 24 日

伝統的木造軸組構法 実大静加力実験 結果速報

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

一般社団法人木を活かす建築推進協議会では、国土交通省の補助により伝統的木造軸組構法住宅の設計法作成及び性能検証事業を行っております。

本事業は、伝統的木造軸組構法住宅の設計法を開発し改正建築基準法に基づく当該建物の審査に係る環境を整備することにより、これらの建築物の円滑な建築に資することを目的としております。

昨年度は（財）日本住宅・木材技術センターと（独）防災科学技術研究所との共同研究により伝統的木造軸組構法の実物大住宅（2 棟）の振動台実験が行われました。今年度は、以下の目的で同協議会と独立行政法人建築研究所との共同研究により、昨年度行った実物大試験体の静加力実験を実施しました。

- ①土壁のない軸組のみの試験体とし、軸組の強度特性を把握する。
- ②震動台実験の強度特性と比較し、土壁と軸組の強度分担割合を検証する。
- ③別途実施する接合部等の要素実験から、今回の試験体全体加力が推定できるか検証する。
- ④水平構面の剛性を把握する。

この実験結果速報として下記に内容を掲載致しますのでご参照下さい。

- ・ [伝統的木造軸組構法住宅の静的実大加力実験結果速報（平成 21 年 11 月 19 日版）（PDF）](#)